

アイボリー・フォーラム

2010年 子午線発・宇宙の旅

～ 中秋の名月の下、明石に子午線が通過する意義・歴史を語る～

講師 明石市立天文科学館 学芸員 井上 毅氏

2008年9月11日(木) 午後6時30分～(6時開場)

ホテル アイボリー 茜の間(3F) 参加費用: 1,000円

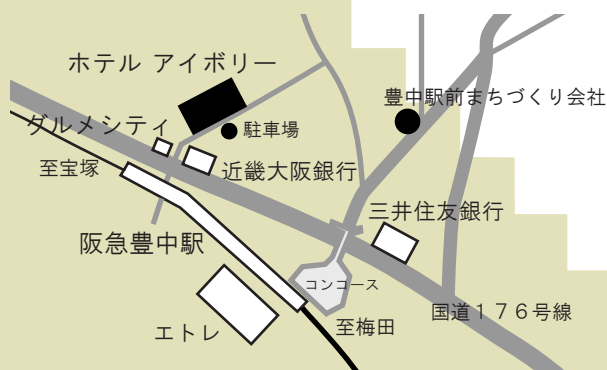
1910年(明治43年、箕面有馬電気軌道-阪急電車の前身-)が開通した年、明石に初めての日本標準時の子午線標識が建てられる。提案したのは明石の校長先生たち。明石に子午線が通過することの意義を多くの人に知らせたいとの教育者達の熱い想いがあった。その後、より正確な子午線の位置を決定するために2度の天体観測が行われ、1960年には明石市立天文科学館が開館し、“時と宇宙の博物館”として多くの人々に親しまれてきた。1995年の阪神淡路大震災では塔時計が止まる様子が全国に報じられ、3年後に再開し、多くの方が震災復興のシンボルとして歓迎した。2010年は子午線標識が建設されて100年、天文科学館が開館50年という年。今では南北の12市に子午線標識が作られている。先人の想いを後世に伝えるということの意味を考えたい。

また中秋の名月にちなみ、月や星、宇宙に関する話も紹介する予定。

井上 毅氏
プロフィール

1969年姫路市生まれ。名古屋大学大学院修了後(財)旭高原自然活用村協会を経て現職。2009年はガリレオが望遠鏡で天体観測を行って400年を記念した世界天文年の日本委員会企画委員。

アクセス ご来場は公共の交通機関をご利用ください。



ホテルアイボリー

大阪府豊中市本町3丁目1番16号
06-6849-1111 (代表)<http://www.hotel-ivory.co.jp/index.html>

◎電車をご利用の方

- 阪急宝塚線 豊中駅下車すぐ
- 阪急梅田駅から急行で10分

お問い合わせ /

豊中駅前まちづくり会社

電話(06)6858-6190

お申し込み /

mail: matidukuri@nifty.com

ホームページ

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/matidukuri/forum.html>